

即興型英語ディベートの指導者育成に関する遠隔研修の開発

調査の概要

◆課題認識

- ・アクティブラーニング形式である即興型英語ディベートの指導ができる教員が少ない。
- ・教員の学びによって得られた能力や成果が見える形で実感する機会が少ない。
- ・教員が多忙であることや経済的理由から必ずしも実地研修への参加が容易ではない。

◆調査研究の目的

- ・研修プログラムの改善・実施
- ・遠隔研修システムの開発

◆連携機関

- ・神奈川県教育委員会ほか
- ・全国の高等学校（遠隔研修参加希望者）

◆調査研究方法

本事業では、授業で導入できる形式の即興型英語ディベートに着目し、教員自身のディベート実践、生徒への指導（ジャッジ）方法の習得のための研修プログラムの改善および実施を行う。教員の主体的な学びが評価され、成果が見える形で実感できる取り組みとして、表彰と認定制度を導入する。また、広く教員が参加しやすいよう遠隔研修システムを開発する。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①遠隔研修

- ・これまで時間や場所の制約で研修に参加できなかった教員の学び。

②実地研修

- ・授業導入に関する説明を強化。

③生徒のディベート実践の場（交流大会や全国大会）を活用した表彰制度の確立。

◆成果

- ・これまで研修に参加できなかった教員が遠隔システム上で集まり、また実地研修においても新規参加が多く、即興型英語ディベートの指導者育成ができた。

- ・教員の主体的な学び
- ・授業への導入

研修



遠隔システムの導入

- ・主体的な学びの評価
- ・モチベーションの向上

表彰



- ・見える形で成果を実感
- ・質の高い授業提供

認定



今後の課題

◆各校における研修参加への支援

- ・校長の許可による遠隔研修への公務としての参加。
- ・即興型英語ディベートの授業導入としての目的の周知・再確認。（大会で優勝することが最終目標ではない）